

子どもたち

あいどる

三三三

発行 社会福祉法人 路交館広報部
発行責任者 枝本 信一郎
編集 あいどる編集委員会(中川)
〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2-7-5
TEL06-6321-3955 FAX06-6325-6320
ホームページアドレス <http://www.rokoukan.or.jp>
掲載の写真はアンケートに基づき掲載しています。



隠された「よろこび」

路交館理事長 枝本 信一郎

昨年、障害者が親に殺される事件が大阪市内で2件もあったとの話を聞いた。この話を聞いて思ったのは、障害児者を育て親として一緒に生きるのは非常にしんどくて苦労が多く、それに力尽きたのだらうな。障害児者の支援に携わる者としては、このような親の負担を少しでも軽減できるように努力する必要があるのだらうな。ということだった。

話は変わるが、先日、当法人の障害者支援事業所に勤務する若い職員と雑談をしているとき、「障害児を育てる親は、子育ての中で健常児の親よりもっと大きな喜びを感じることが出来るのではなかろうか」との意見を聞いた。「障害児の場合、何かができるようになるのに他の子よりもどうしても遅れるので、待ちに待ってそれができるようになる分だけ、より大きな喜びを感じるのではないか」と言うのである。

このような発想をしたことがなかったのでもっと慌てながらも、「でも、親御さんにしたらそれまでの間、その出来なさに対する介護的な負担が余分にあるし、出来なさそのものにもつらい思いをしているのと違うかな。障害児を育てるのは、ごっついしんどいことやと思うで…」と半ば論じつつ反論するが、「だからこそ、出来るようになった時の喜びはより大きいのではないのでしょうか？」と返ってくる。こんなやり取りを重ねるうちに、ハタと気付いたことがあった。

30年ほど昔のことだが、ある障害者(当時20代後半だったと思う…)のお母さんと話し込んでいた時、お母さんが彼を育てる中でしんどかったことばかりを話すので、ついつい「お母ちゃん! そろそろ白状しようよ。本当は〇〇のことが大好きで可愛くて可愛くて仕方ないやろう! そのことをもっとオープンにしゃべって欲しいわ。」と、突っ込みを入れたことがあった。この時のお母さんの返事はほとんど忘れてしまったが、「私のしんどさをちょっとも理解してへん!」と厳しく怒られた印象はない。「実際、本当にしんどかったし…」とうそぶくように言われた程度だったのだらう。だからこそ、「可愛くて仕方ないやろう」との突っ込みが、それなりに当を得たものとの印象を持ち、今日まで長らく記憶に残ったのだと思うのである。

実は、障害児者の親との付き合いが始まった頃には、それぞれの親御さんがそれぞれに我が子を育ててきた「しんどさ」を語り、それを聞きながら、そのような「しんどさ」を抱えながら親子共に生きてきた「生」の重さを噛みしめて支援をしなければと決意を新たにさせられていた。

しかし、親御さんとの付き合いを重ねるにしたがって、毎度毎度「しんどい」話を聞かされるにつれ、その物言いに反発を感じ、「『しんどい、しんどい』と言われる〇〇は、自分を否定されたように感じてもっとしんどいのと違うやろうか」と反発を感じるようになった。このような反発を感

じているだけの時は、まだその反発を言葉にすることが出来ずにいたが、「しんどい」という思いだけでは〇〇をここまで育てて来なかったはずだし、今の親子関係や、〇〇その人や、親御さんその人の人となりのようなものはありえないのではないかと考えるようになった。要するに「しんどい」の言葉の背後にある我が子への思いを読み取ろうと試みるようになったのである。

このような時、現場の職員の一部で、障害者をしんどい人として見、一方的に保護しようとする風潮があることに気が付き、そのことにイラついていたところで、前述の突っ込みとなった。今にして思うと、もっと言葉を選ぶことはできなかったのかと反省はするのだが、それでも、我が子と過ごして楽しかったことや嬉しかったこと、どんなところを可愛いと思っているのかなど、しんどいことだけでなく語ってほしいと願ったことは間違っていないかと思っている。

今日、全部が全部とは言わないが、「わが子が可愛くてたまらん」と言ってくれる親御さんや、「わがことの楽しかった思い出」を語ってくれる親御さんが以前に比べて増えてきているように思う。特に、何らかの親仲間などのネットワークを持って子育てされてきた親御さんの場合にそれを感じる。また背景としては、それなりに障害児者の支援基盤が30年前に比べて格段に充実してきている状況もあるのだらう。

また、このような状況があるからこそ、件の若手職員のように「障害児を育てる親はもっと大きな喜びを感じるのでは」と思える感性が育ってきているとも言えそうである。

この発言、まだまだ粗削りだし、一面的なようにも思うが、障害児者が当り前な一人の人として生きていける社会を作り出すには、障害児者も含めて一人一人がこれまで生きてきた中で「幸せ」を実感していることが必須である以上、障害を持たない人々の側に必要な一つの感性の萌芽となるものなのかもしれない。

ただ、上記で「一面的」としたのは、本稿の冒頭で述べた我が子殺しのような現実がまだまだあることを、あまりにも軽視しているように思えるからである。障害児者支援の現場のようにそれなりに障害児者やその親御さんを支援するネットワークができていいるところはまだ良いとして、孤立して子育てしている親子にとっては、まだまだ耐え難い「しんどさ」が今日も続いているのだと思う。

一支援現場の職員である者にとって、ネットワークの外にいる障害児者と出会う機会はほとんどないのだが、だからこそ、今日の前にいる親御さんから「しんどさ」を聞き取る感性が求められているのだと思う。

2015年度も社会福祉法人 路交館をよろしく願いします♪

施設紹介

幼保連携型認定こども園 聖愛園

★今年度より「保育所」から「幼保連携型認定こども園」に移行しました。名称は『幼保連携型認定こども園 聖愛園』となります。

阪急淡路駅から歩いて5分の所にあります。3階建のピンクの建物が見えてくると共に子ども達の可愛い声が聞こえてきます。館内に入ってすぐ円形型の青空がみえ、とても開放感を感じられますよ。同じ建物の中に併設されている地域子育てセンターでは、一時預かり事業や休日保育、子育て広場をしています。



聖愛園 文責 向濱 知里

幼保連携型認定こども園 あすなろ

★今年度より「保育所」から「幼保連携型認定こども園」に移行しました。名称は『幼保連携型認定こども園 あすなろ』となります。聖愛園と同じ建物に併設されているあすなろは、最大で24時まで保育をしています。子どもたちが夕食を食べ、夜ならではの行事(お月見会等)を楽しんで過ごしています。そんな子どもたちの様子をあいどるでお伝えしていきますね。



あすなろ 文責 達川 裕美

つくしクラブ

聖愛園と同じ建物の中に併設されているつくしクラブ(小学1年生～3年生)37名と杉の子クラブ(小学4年生～6年生)13名。

小学生の子どもたちは、自分たちでやりたいことに向かって色々なことに挑戦していきます!夏にはキャンプ、冬には雪遊びと楽しいイベントが待っています♪

土曜日は1日思いっきり遊べる日なので子どもたちも大はしゃぎです☆

つくし 文責 福井 優子



幼保連携型認定こども園 北丘聖愛園

★今年度より「保育所」から「幼保連携型認定こども園」に移行しました。名称は『幼保連携型認定こども園 北丘聖愛園』となります。

北丘聖愛園のシンボルといえば、広い園庭と桜の木です。今年も桜は満開で、園庭では子ども達の遊んでいる声が響いています。桜の葉が、青葉・紅葉に移り変わり、落ち葉になり、雪が舞う園庭を見ながら季節の移ろいを子ども達と共に感じることができる北丘聖愛園。あいどるを通して、北丘聖愛園の様子をたくさんお伝えしていくので楽しみにしててくださいね。



豊新聖愛園

今年度で開所10周年を迎える豊新聖愛園。朝7時～深夜3時までの夜間保育、宿泊保育を受けています。皆でおいしい夕食を食べて、ぼかほかのお風呂に入ったり、お布団で安心して眠りにつけるように、愛情たっぷり保育をしていますよ。



兄弟・姉妹のような異年齢の交流を大切に、アットホームな雰囲気での保育です!



楽しい行事もたくさん



で、お友達や保育者と一緒に、いろんなことにチャレンジしていきます。そんな豊新聖愛園の様子を載せていきますので、楽しみに待っていて下さいね!

文責 関 美沙子

ウィリッシュ

就労移行支援：一般企業等への就労を希望される方に対して、一定期間就労に必要な知識と就労者として基本的なマナーを身に付けて就職を目指します。

生活介護：常時介護が必要とする方に対して日常生活面での支援をしながら創作活動・軽作業などの活動をしています。

ウィリッシュでは「利用者主体」を目標に自社製品の販売や毎年恒例のウィリッシュ旅行の企画などみんなで楽しい事・難しい事を乗り越える経験を達成感ややりがいを感じる事を日々大切に活動しています。

文責 尾崎 彩



ほっとコミュニティういる

就労継続支援B型事業所 ほっとコミュニティういる

通称ほっとは現在メンバー23名で作業を行っており、作業内容は淡路聖愛園の清掃作業を請け負う『掃除部』、淡路・豊新聖愛園・グループホームなどの法人内事業所のリネン業務を請け負う『リネン部』、ここち珈琲店での接客を担当する『喫茶部』に分かれ、それぞれに所属するメンバー達が、責任を持って仕事を組み立て、協力しながら日々の業務に取り組んでいます。

文責 後藤 圭介



桜の園

桜の園は、守口市の北西の淀川堤防沿いにある事業所です。

相談支援事業所さくら、ういずサポートセンターさくら、G・Hういるハウス（八雲西、青い鳥、はとポップ）日中支援の生活介護と就労継続支援B型があります。

作業やお祭りなどのイベントや行事で地域に出て行く活動を中心に楽しくにぎやかに頑張っています。

文責 原田 貴司



ういず守口



「ういず守口」は、3事業を運営し、生活介護事業は、ねずみとり検品作業やマグネットハンガー作業をしています。26名のメンバーで大所帯で、毎日にながやかです。作業の他にみんなで散歩にいたり、ミュージカルの練習をした

り、楽しい時間を過ごしています。

就労移行は、利用者は4月現在9名おり、二年以内の就職を目指して自転車のカギの検品や輪ゴムの袋入れの内職の作業を行ったり、ハローワーク等で求職活動や企業での実習等を行ないながら就職するための力をつけていく所です。

ういず守口就労継続B型事業は、メンバーさんは主に、クロスロード（土居商店街にありますカフェ）で美味しい焼き菓子や、クッキーの製造と販売のお仕事をしています。近くにお越しの際は、淹れたてのコーヒーと共にメンバーさんのとびっきりの笑顔をご堪能ください!!

（文責 西野 佳昌）

ういず滝井

「ういず滝井」は千林商店街の近くにある事業所です。現在生活介護10名・就労継続B型13名で毎日元気に活動しています。

週に一回、お互いのメンバーが横割りして作業をする日を設けています。手伝ったり、助け合ったり「なかま」を大切にする事業所です。昨年は『ラーメン記念館の見学』、『初めてのミニ運動会』をしたり、生活介護と就労継続B型との横の繋がりが深いのもこの事業所の特徴です。今年はどんなことをしていこうかな…仕事もして遊びもしてメンバーもスタッフもドキドキワクワクの1年にしたいと思っています。

（文責 山本るみ子）



大道南

1階が“児童発達支援センター わかくさ”として、幼児を対象とした児童発達支援、小学校～高校生を対象とした放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、相談支援の4つの事業をしております。2階はグループホーム大道南①、3階は同じく、大道南②の複合施設となっています。

近くに公園がたくさんあり、少し歩けばすぐ淀川というとても良い環境の中にあります。

子どもたちが生きやすい社会になるように願い、障がいのある方たちの社会参加に向けて、

地域とも連携を持ちつつ、日々活動をしています。

文責 樫本 勝一





聖愛園



37名のゆりさんが聖愛園を卒園しました!!
おめでとう♪小学校に行っても
夢に向かって、頑張ってね☆

北丘聖愛園



元気いっぱいのきりん(5歳児)さんが
北丘聖愛園を卒園しました!
小学校に行ってもたくさんの思い出をつくってほしいです。
卒園おめでとうございます!!

つくし

10名の3年生たちが元気に卒室しました!
これから高学年となる3年生。
楽しいこと沢山経験できるといいね☆



豊新聖愛園



元気いっぱいの16名のゆりさんが卒園しました!
みんな優しく、たくましく、こんなに大きくなりましたね。
小学校でも、友達をたくさん作って
勉強や遊びをがんばって下さい。

杉の子



4名の6年生が卒室しました。
次はいよいよ中学生、
新しい世界で大きく羽ばたいて
ほしいと思います。がんばれー!

わかくさポプラ



2015年3月14日(土)、2014年度わかくさ・ポプラの卒室式が行われました。
今年度の卒室生は6名は全員が小学生の頃から
路交館を利用して、路交館と共に育って来ました。
長年一緒に過ごしてきたみんなが卒室していくのは、
寂しい思いもありますが、「新しい生活の中で頑張っていきたい!」
と応援していきます。
手作り感のある、心温まる式で6人を送り出すことができました!

路交館 これからの予定

淡路・ちこせ・おうち・つくし

5月8日(金) 子育て講座「お茶会」(地子せ)
 5月17日(日) 親子であそぼう(おうち保育)
 5月22日(金) 春の遠足
 5月30日(土) 出合いのうんどうかい(地子せ)
 6月5日(金)~6日(土) 3・4・5歳児園内一泊保育
 6月10日(水) 親子ピクニック(地子せ)
 7月1日(水) プール開き
 7月3日(金)~4日(土) 5歳児能勢園外一泊保育
 7月7日(火) セタ集い おうちセタ 子育て講座「お茶会」
 7月18日(土) タ涼み会

子ども館

5月16日(土) 外出活動
 6月6日(土) リーダーデイキャンプ
 6月20日(土) つくしミニバザー
 6月27日(土) デイキャンプ
 7月11日(土) 摂津峡川遊び
 7月23日(水)~25日(土)つくしサマーキャンプ
 8月6日(水)~8月8日(土) 杉の子キャンプ

北丘聖愛園

5月8日(金) クラス写真撮影
 5月11日(月) 移動動物園
 5月14日(木) もも(3・4・5歳児)親子懇親会
 5月15日(金) れもん(3・4・5歳児)親子懇親会
 5月18日(日) 自衛消防訓練
 5月26日(火) きりん(5歳児)五月山登山
 5月28日(木) 五月山登山予備日
 6月20日(土) 地域ふれあいDAY
 ひよこ(0歳児)ふれあいDAY
 6月23日(火) うさぎ(2歳児)ふれあいDAY
 7月1日(水) プール開き
 7月3日(金)~4日(土) たてわりサマーキャンプ
 7月7日(火) セタ集い
 7月18日(土) 納涼会
 7月19日(日) 納涼会予備日
 7月22日(水) どんぐり大会(乳児)
 7月23日(木) どんぐり大会(幼児)

豊新聖愛園

5月1日(金) しょうぶ湯
 5月9日(土) クラス懇談会&やんちゃ広場&保護者会総会
 5月14日(木) にじぶちおでかけ
 5月19日(火) 内科検診

5月22日(金) 園外保育

6月4日(木) 歯科検診
 6月10日(水) 誕生会
 6月20日(土) ゆり園外一泊保育説明会

7月1日(水) プール開き
 7月7日(火) セタ集い
 7月8日(水) 5歳児びわ湖一泊激励会
 7月9日(木) 5歳児びわ湖一泊保育
 7月10日(金) 5歳児びわ湖一泊保育
 7月17日(金) 避難訓練・にじぶちおでかけ
 7月31日(金) すいか割り・花火大会

わかくさ

ボブラ
 4月23日⇒外出活動(マクドナルド)
 5月23日⇒外出活動(動物園)
 6月⇒調理活動(日程は未定)
 7月⇒調理活動(日程は未定)
 年間を通して(地域清掃)
 さくらんぼルーム
 7月9日(木) 絵本の読み聞かせ・親子ふれあい遊び

**2008年度 聖愛園・北丘聖愛園・豊新聖愛園を卒園したみなさん
 小学校の卒園・中学校の入学おめでとございます。**

給食室おすすめレシピ

ツナの酢の物(約4人分)

材 料

きゅうり 1本(100g)
 ツナ缶 小1缶(70g)
 カットワカメ 少々
 酢 大さじ1
 砂糖 小さじ1
 しょうゆ 少々
 ゴマ油 少々(お好みで)



- ①きゅうりは輪切りにし、塩でしんなりさせて、水分をしぼっておく。
 - ②ツナ缶はザルに出し、油をきっておく。
 - ③カットワカメを水でもどす。(量が増えるので注意する)
 - ④酢、砂糖、しょうゆ、ゴマ油をボールに合わせておく。
 - ⑤ボールに、①②③を入れて、④であえてできあがり。
- (粒コーンを入れてもおいしいです)

法人事務局移転しました。

法人事務局が2015年2月23日にF J Sビル1F・2Fに移転しました。

1Fは財務部というずサポートセンター事務所、2Fは人事部と法務部になっています。

法務部については今までは保育系と障がい者系が別々に業務を行っていましたが、今回の移転で一緒に業務を行えるようになりました。

法人の内部統制を支え、適正経営を行うために実務を滞りなく行っています。

文責 寒川 武士



★後援会加入&寄附のお願い★

路交館後援会へ加入のお願いです。会費は一口1,500円からで、あいどるの郵送料などに使わせていただきます。後援会費は入金日より1年間有効です。ご協力のほどよろしくお願いします。

また、当法人の保育・活動にご賛同・ご支援いただける法人・団体・個人の皆様からのご寄附の協力をお願いしています。お寄せいただいた寄附金は、利用者の皆様への更なるサービスの充実、各施設の施設・設備整備等に使わせていただきます。皆様からの暖かいご支援・ご援助を心からお願い申し上げます。

※どちらも同封の払込用紙を使っていただければ、手数料は当法人負担になります。

編集後記

今年は、春が一気に駆け抜けていき、5月に入ると真夏日を観測。いったい夏はどんな暑さになるんでしょうね。今年度もあいどる委員一同で、路交館のホットな話題をお届けしたいと思います。よろしくお願いします。

編集担当 あいどる委員 中川

寄附のお願い

社会福祉法人 路交館では、当法人の保育・活動にご賛同・ご支援いただける法人・団体・個人の皆様からのご寄附の協力をお願いしています。

聖愛幼稚園であった 1972 年に障がい児 2 名を受け入れて以来、路交館はもっとも困難な立場に立たされている子どもや大人にまなざしを向けて寄り添うことを法人の活動の基本として「障がい児共同保育」に取り組んできました。

その後も、深夜に保育が必要な子どもたちのために「夜間保育」、保育所を卒園した子どもたちのためには「学童保育」を、学校を卒業してからの障がい者の生活・就労を支援するために「障がい者社会参加支援事業」と事業を展開し続けており、現在はケアホームの住居の増設を行っております。

お寄せいただいた寄附金は、利用者の皆様への更なるサービスの充実、各施設の施設・設備整備等に使用させていただきます。

皆様からの暖かいご支援・ご援助を心からお願い申し上げます。

寄附金の振込先

★郵便振替

振替口座：00980—3—314818

加入者名：社会福祉法人路交館

「桜の園」建替えに向けて、専用の口座を設けました。

振替口座：00900—8—306828

加入者名：社会福祉法人路交館 桜の園

※どちらも同封の用紙をゆうちょ銀行にお持ちください。手数料は当方負担になります。

社会福祉法人路交館は税額控除対象法人となりました

当法人は税額控除対象法人になりましたので、ご寄附いただいた方が確定申告される際、「所得控除」ではなく「税額控除」で申請することも可能になりました。

◎所得控除

（所得金額－所得控除額※1）×税率＝控除後税額

※1 社会福祉法人等に対してその年中に支払った寄付金の合計額から 2,000 円をひいたもの

◎税額控除

税額－税額控除額※2＝控除後税額

※2 （税額控除対象寄付金－2,000 円）×40％＝控除額

寄附に対するお問い合わせ先

社会福祉法人路交館 財務部

TEL：06-6321-3955

FAX：06-6321-3912

メールアドレス：soumu@rokoukan.or.jp